

平成31年度 学校経営計画書

| | | | | | |
|------|----|-----|-------------|-----|-------|
| 学校番号 | 31 | 学校名 | 静岡県立清水東高等学校 | 校長名 | 鈴木 照彦 |
|------|----|-----|-------------|-----|-------|

1 目指す学校像

(1) 教育目標

「金剛の意志」を持つ、知・徳・体を兼ね備えた人格の育成を目指す。

実践目標

「誠実、清楚、気品ある人格を磨こう。自主、自律、旺盛な研究意欲を持とう。明朗、闊達、責任感をもって人事を尽くそう。」のもとに、清高の良き伝統と自主・自律の校風を継承発展させ、高い志をもって社会の発展に貢献する指導的人材を育てる。

(2) 目標具現化の柱

- ア 安心安全な学校を作る。
- イ 社会のリーダーとして活躍できる人材を育成する。
- ウ 学力の定着を図り、進路希望を実現する。
- エ 国の「働き方改革」を見据え、勤務の在り方を見直す。
- オ 学校運営の組織化を推進する。
- カ 健康でたくましい心身を育成する。
- キ 確実に効果的な学校事務執行を推進する。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

| | 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当 |
|---|----------------------------|---|--|-----------------|
| ア | いじめ、体罰等の根絶 | <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止対策基本方針に基づく取組の実施 ・不祥事根絶計画に基づいた研修の実施 ・学校生活上の問題の早期発見、対応 ・スマートフォン等の使い方の指導の充実 ・学校一斉メールの有効活用の検討 ・生徒会やPTAと連携した取組の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画及びいじめへの対処の確実な実施 ・いじめの認知機会を増やし、的確な初期対応をする。 ・「誰に対しても相手の気持ちを大切に接している」と答える生徒の割合：90% ・教職員による不祥事(体罰、交通事犯等)事案：0件 ・ネットに関するトラブル：0件 | 生徒 |
| | 授業中、部活動中、登下校中の事故防止 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員、部活動代表者と合同でAED講習会の実施 ・熱中症対策の周知徹底 ・保護者、警察と連携した自転車通学者に対する交通安全指導の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時に、教職員・生徒共に動ける体制づくり ・保護者等と連携した登校指導の実施：年2回 ・登下校時の自転車事故件数の半減 | 生徒 教務 保健 |
| | 防災対策の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・一斉メールの加入促進 ・危機管理マニュアルの周知徹底 | <ul style="list-style-type: none"> ・前年以上の加入者の増加 ・現実的な避難訓練の実施 | 総務 |
| | 学校施設の安全確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・自主的な校内美化活動による学習環境の整備 ・校舎内に入る時に、靴の砂を落とす指導の呼び掛け | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量、分別マナーの徹底 ・「環境を守ることの大切さを理解し、実践している」と答える生徒の割合：80% ・校舎に砂を持ち込まない意識を持つようになる。 | 事務 保健 |
| | インフルエンザ等の予防 | <ul style="list-style-type: none"> ・保健委員による予防の呼び掛けと担任による健康観察 ・保健委員会作成の「保健だより」の配布 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級閉鎖にならない（感染の防止） | 保健 |
| イ | 主体的、対話的で深い学び、アクティブラーニングの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニングの全校的な推進 ・総合教育センターなどの校外での研修や研究授業に関する情報提供と積極的な参加の呼び掛け ・新学習指導要領関連の情報収集及び提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニングに取り組む教員の割合：70%以上 ・生徒が主体となり協働的に関わり合う授業が行われる。 | 全職員 教務 研修 |
| | SSH活動の充実、発展 | <ul style="list-style-type: none"> ・SSH部を中心とした組織的な取組 ・理科の不思議実験講座の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・普通科課題研究の指導体制の充実、関連の全国大会へ出場、課題研究を英語で表現 ・不思議実験講座：年3回実施 | SSH |

| | 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当 |
|---|----------------------------|--|---|------------------------------|
| ウ | 生徒会活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の生徒による自主的運営と地域との連携の推進 ・学校行事や生徒会活動の地域への積極的な発信 ・1部活動1ボランティアの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・「文化祭に満足している」と答える生徒の割合：80%以上 ・「まんぷくコンサート」の充実、参観者の増加 ・行事等ごとの学校HPの更新 ・「ボランティア活動」や「社会貢献活動」に積極的に参加している」と答える生徒の割合：40% | 生徒 |
| | 基礎学力の定着（校内学力試験の活用） | <ul style="list-style-type: none"> ・定期テストの内容見直し ・出題形式、難易度の調整、出題内容の精選、学年・教科との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・「授業が分かりやすい」と答える生徒の割合：85%以上 ・「指導のレベルに満足している」と答える生徒の割合：90%以上 | 教務進路 |
| | コアスクール事業の充実と学力向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修への積極的参加と生徒への情報の還元 ・外部専門機関から講師を招聘した校内研修の実施 ・県内外の先進校視察による情報収集 | <ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中等の外部の研修会に年1回以上参加する教員の割合：80%以上 ・学校教育関連の最新情報、教授法や評価等についての理解を深め実践に生かす。 | 管理職 教務 進路 研修 |
| | 読む力をつける | <ul style="list-style-type: none"> ・各学年での読書の推奨、朝読書の活用 ・講演会等の事前・事後指導を通じた読書機会の創出 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の貸出冊数の増加 ・「家で読書をしている」と答える生徒の割合：30%以上 | 図書 |
| | 個に合った適切な進路指導、進路面談の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・東大・理研訪問、県立大薬学部訪問、国立遺伝学研究所訪問、プロフェッショナルと語る会の実施 ・年間を通しての必要に応じた面談の実施 ・模試分析、個人面談、LHR・PWの行事等、計画的な指導 ・最適な類型・科目選択につながる効果的なガイダンスの実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・参加生徒の満足度：80%以上 ・年間3回以上の進路面談の実施 ・生徒が明確な進路意識を持ち、自らの進路実現に向けて努力するようになる。 | 進路 理数科 SSH 図書 学年 |
| | 土曜講座、特別指導、校内外模試等の在り方の検討と充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・在籍期間中の進路指導計画の策定 ・進路指導計画に基づく適切な実施回数や方法、実施時期等の検討 ・欠席者への適切な対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・土曜講座年間10回実施 | 進路 |
| | 大学入学共通テスト対策研究 | <ul style="list-style-type: none"> ・各教科ごとに試行調査、新傾向問題を分析 ・校内模試等に新傾向問題や記述式問題を出題 ・各教科で主担当を決めて情報収集し対策を構築。学校行事への反映 ・入試改革における多面的・総合的評価への対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が共通テストについての正確な情報を得て、安心して学習に励むようになる。 ・生徒個々の特別活動履歴等の的確な把握とその活用方法を教員間で共有し、実践する。 | 進路 学年 |
| | 小論文、面接指導の研究と充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修会への積極的参加、学年・教科が連携した指導 | <ul style="list-style-type: none"> ・指導内容に即し、適正に各教科に割り振る。 | 進路 |
| | 授業改善の取組拡大 | <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の実施 ・多様な形式での授業交流の実施 ・公開授業の実施方法の改善 ・授業アンケートの実施と分析、個々の授業への還元 ・ICT機器の有効活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒による授業評価での納得度：80%以上 ・授業交流（年間2回） ・授業改善の促進 ・ICT機器を活用し、効果を実感している教員の割合：60% | 全職員 研修 |
| | 時間外労働の縮減 | <ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間の変更(8:10-16:40) ・計画的な業務による勤務時間管理の徹底 | <ul style="list-style-type: none"> ・「時間外勤務が縮減できた」と答える教職員の割合：50% | 管理職 |
| エ | 休暇の確実な取得の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・振替、割振りの徹底 ・夏季休業中に休暇取得促進日を設定 ・週休日の内一日はノー部活デーを設定 | <ul style="list-style-type: none"> ・振替、割振り、休暇取得促進日の取得率：100% ・ノー部活デーの実施率：100% | 管理職 |
| | 業務の見直し、スクラップの推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・各担当での業務内容や実施方法の見直し ・業務分担と負担が見える化し、平準化を推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・有機的な繋がりを踏まえ、行事や業務をスリム化(統合、縮小、廃止)する。 | 管理職 全分掌 全学年 |
| オ | 学年主体から分掌主体の学校運営への転換 | <ul style="list-style-type: none"> ・清高2020委員会による学校運営体制・方法の検討 ・分掌主体の学校運営により、指導方針の統一と継続を強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・業務の主管(責任者)、実務担当が明確となる。 | 管理職 |

| | 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当 |
|---|----------------|--|---|----------------|
| | 各分掌の内規の見直し | ・指導方針の共有化を図るため、各分掌の内規の整備及び内容・文言を精査 | ・現状や法令と齟齬のない適切な内容に、全分掌が内規を見直す。 | 全分掌 |
| カ | 部活動の充実、成績の向上 | ・効率の良い部活動の運営（年間活動計画の学校HPでの公開） ・部活動顧問会の開催、外部人材の活用 ・「清高健児を応援する会」による部活動支援 | ・部活動終了時間厳守 ・完全下校19時30分の徹底 ・全国大会5部活、県大会10部活以上 | 生徒 |
| | 体力、メンタル強化 | ・補強運動を重点とした基礎体力の向上 ・ピアサポートの実施により、コミュニケーション力向上と友人間の支え合いができるように働きかける ・学年主任会や担任会を通じた生徒情報の共有、早期対応 ・睡眠時間6時間以上の確保 | ・新体力テストで最優秀校 ・保健委員以外の生徒もピアサポートの意義を理解し、実践できるようになる。 ・生徒が毎日元気に登校できるようになる。 ・学年主任会、担任会の定期的な開催：月2回以上 | 保健 学年 体育 |
| キ | 事務室運営の効率化 | ・マニュアルに沿ったチェックの履行 | ・監査・検査における指示・注意0件 | 事務 |
| | 学年会計、部活動会計の適切化 | ・学校徴収金事務取扱いマニュアルに沿った事務処理 ・臨時のテキスト購入等も全て学年会計で処理 ・定期的に出納簿と証拠書類を照合 | ・部活動会計の現金徴収取扱い部活：半分以下、0を目指す。 ・必要なテキストの買い忘れ、現金の盗難等を防ぐ。 ・生徒が昼休みの時間を有意義に確保できるようにする。 | 事務 学年 |